

道徳だより

令和4年 6月
七塚小学校
校長 宗廣 進一
3年生担当

今回は、3年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名：思い切って 教材名：「あこがれの人」

《ねらい》 自分がやらないといけないとわかっていることから逃げず、責任もってやるべきことをやる
ことが自己肯定感につながることを理解し、自信をもって行おうとする心情を育てる。

《あらすじ》

願いがかなって入った郡上おどりジュニア（郡上おどり保存会ジュニアクラブ。地元の小学生から高校生までがおどりやおはやしを学んでいる。最初は歌の練習から始まる。）でしたが、一年たって主人公のあけみはだんだん練習に行くのが嫌になってきました。そんな中、クラスの友達から練習をさぼって買い物に行こうと誘われます。主人公が迷いながら歩いていると、ジュニアのあこがれている先輩に出会います。先輩との思い出を振り返り、迷った末、友達との誘いをきっぱりと断る、というお話です。

児童の考え

教師の問いかけ



あけみはどんな考えから、友達の誘いを断ったのかな。

自分もさとみさんのようになりたい。



思い切って断れたから、もやもやがなくなってスッキリしたよ。



児童の振り返りより

- 迷ったときは、大切な方に行くけど、誘ってくれた人に「ありがとう」や「ごめんね」などの気持ちを伝えていきたい。
- 用事があるときは、思い切って断り、「ごめんね」をちゃんと言えるようになりたい。

人に誘われて迷ったときは、はじめの約束や自分がやるべきことをやってから遊ぶことが大切であると考えていました。また、断ってしまった相手に別の日を提案したり、謝罪したりしたいと相手への配慮する気持ちをもてる子もいました。正しいことを行うと気持ちがスッキリすることにも気づき、これからの生活に生かしていきたいことを考えていました。